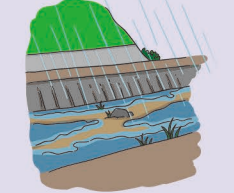
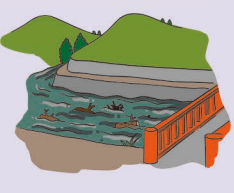


マイ・タイムライン

マイ・タイムライン とは、災害の発生時点「0時間（ゼロ・アワー）」から時間をさかのぼり、一人ひとりがとるべき防災行動のタイミングを整理する**行動計画表**です。地域の水害リスクや防災気象情報の入手方法を把握し、それぞれの家族構成や生活環境にあったマイ・タイムラインを作成しましょう。（このページでは、台風による河川の氾濫を想定しています）

災害発生までの時間	行政が発信される情報 黒：気象・水象情報	「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで	わが家の行動計画 右の例を参考に書いてみましょう	《例》主な備えと行動
5日前～	台風に関する気象情報	台風が発生  台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる		・台風の今後を調べ始める ・本書等を見て避難場所、避難手段を確認 ・家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ・テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ・避難するときに持っていくものを準備する ・家族と連絡を取りあう
～半日前	警戒レベル2 レベル2大雨注意報 氾濫注意水位到達	雨が集まって、川の水がだんだん増える 		・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める ・本書等で避難場所、避難手段を再確認 ・川の水位を調べ始める ・避難所が開設しているか、インターネットで確認 ・避難しやすい服装に着替える ・携帯電話、スマートフォンを充電する
5時間前	警戒レベル3 高齢者等避難 避難判断水位到達	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる 		・携帯メール等で高齢者等避難を受信 ◎高齢者等は避難開始
3時間前	警戒レベル4 避難指示 氾濫危険水位到達	川の水があふれそうになり、いつ氾濫してもおかしくない状態 		・携帯メール等で避難指示を受信 ◎安全なところへ移動を始める
0時間（ゼロ・アワー）	警戒レベル5 緊急安全確保 氾濫が発生	川の水が氾濫 		・命の危険 直ちに安全確保

※ 気象庁が発表するレベル2大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。避難指示等のタイミングは状況によって異なります。吉岡町からの発信情報に注意してください。

わが家の避難先

マイ・タイムライン使用時の心得

災害は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではありません。また、想定したとおりになるとは限りません。

あくまでも行動の目安として認識する

台風の進み方や雨の降り方、水位の上がり方はそのつど異なります。

警報や避難情報等こまめに収集・確認

気象警報、洪水予報等は状況に応じて臨機応変に発表・発令されます。

避難について

避難時の行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。普段からどう行動するか決めておきましょう。

行政が指定した避難先への立退き避難

自ら携行するもの
○スリッパ
○マスク
○消毒液 など



安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。



こんな格好で避難しよう



安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。



屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



この「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅にとどまり安全を確保することも可能です

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない（入っていると・・・）  水の流れが速いと、木造家屋は倒壊するおそれがあります 地面が削られると家屋は建物ごと崩落するおそれがあります	2 浸水深より居室は高い  10.0～20.0m未満 5.0～10.0m未満 3.0～5.0m未満 0.5～3.0m未満 0.0～0.5m未満	3 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分ある（十分じゃないと・・・） 水、食料、薬などの確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレなどの使用ができなくなるおそれがあります 
---	--	---